

授業科目名	古典に学ぶ		配当開始年次	1
担当教員			単位数	2
授業概要	授業計画(テーマ)			
この講義では、日本の古典を読み解くことを通じて、日本人がそれぞれ生きた時代の中で何を信じ、何を求め、何を喜び・怖れ、何を愛し願っていたのかを考えていくことになる。日本の古典作品を「やさしさ」「かなしみ」「愛」「別れ」「祈り」「祀り」「道」などの様々なテーマのもとで考察することで、現代のスポーツや武道にも受け継がれている日本文化の特徴を把握することを目標とする。	1. 古典を読む意味 2. 「自然」と日本文化 3. 日本人は「やさしい」のか 4. 無常観(感)と「さようなら」 5. 「かなしい」気持ちとの向き合い 6. 祀りと荒ぶる神々 7. 御伽草子の思想 8. 武士の思想① 9. 武士の思想② 10. 武士の思想③ 11. 日本文化と「型」 12. 武道はなぜ「道」か 13. 「名」を重んじること 14. 「愛」と「粋」 15. 古典に学ぶ			
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・古典の構成を知る。 ・古典の文章を直に読む。 ・古典を通じて日本文化の特徴を自分なりに説明できるようになる。 				
受講・学習上のアドバイス	評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・受講するにあたって古典や古文の知識は必要ではありません。高校時代に古文が苦手だった学生も問題なく受講することができます。 事前学習(2h)・事後学習(2h)	評価項目	割合	評価基準等	
	試験	70%	講義の理解	
	レポート	%		
	その他	30%	講義の理解(授業内ミニレポート)	
教科書(書名、著者、出版社、ISBNコード、備考)	参考書(書名、著者、出版社、ISBNコード、備考)			
特になし。毎回レジュメを配付する。	『やまと言葉で哲学する』、竹内整一、春秋社、9784393312841、2,160円			
その他				
【担当形態:単独】				
ディプロマ・ポリシーとの関連性				
②武道、体育及びスポーツに関する様々な課題に対し、幅広い教養と国際的感覚を持ち、主体的に判断し対応することができる。				